

KCCJの信条・信仰告白の 自覚的継承を求めて (5) 朴憲郁牧師(東京神学大学)



上で一瞥したように、合同教会とはいえ、長老派の信条と長老制度を導入している。その10項目からなる信条は基本的に、母国の朝鮮イエス教長老会(独老会)が1907年に採用した「12信条」に依拠している。

しかし、「12信条」には項目内容が相互に重複する部分があり、聖礼典(第10条)と教会生活(11条)について言及するが、肝心の教会論的言及が欠如しているのに比べて、在日本朝鮮基督教会の信条は項目とその内容において一層整えられて重複はなく(第一項に「三位一体の神」が語られるのが特徴的)、第8項目の<教会>は三一の神を崇めるキリストの体、神の神殿と規定し、聖書の教えに従った制度としての教会であると明示する。ここでは選びの教理は後退するが、「聖書」信仰はウェストミンスター信仰告白の第二条に沿って、旧約39巻、新約27巻を列挙することによって、強調する。

2) 在日本朝鮮基督教会総会の「信条」

1947年10月14日に信条と憲法を制定した「在日本朝鮮基督教会総会」は、当然その前身たる在日本朝鮮基督教会(1934年)の信条と憲法を貴重な遺産として継承しつつも、二項目増やして12条とし、文言の表現も自由に変えた。内容において1907年の「12信条」に一部依拠している。増えた二項目の内の一項目は、父なる神の数々の属性を二つに(第二項の父と第4項の聖父に)分けたからであるが、後者の「聖父」では、万物の創造主であり摂理によって世を統治する父なる神が、贖罪のために御子を世に使わず愛の神であることを告げることに、次の第5項目<聖子>に繋げる役割の位置をもつ。もう一項目は<聖職>を新たに規定した。

12条の順序は、次の通りである。1) 聖經、2) 神、3) 三位一体、4) 聖父、5) 聖子、6) 聖霊、7) 墮罪、8) 赦罪、9) 教会、10) 聖礼典、11) 聖職、12) 審判と永生。最後の<告白>はこう述べる。「本信条は神の聖言に基づく明確な信仰の要約であり、各人が信仰をもって告白するものである」と締めくくる。

第一項の<聖經>は、先の1934年の信条のように旧新約聖書の各巻を列挙することはせず、信仰と行為の唯一の規範であり、聖霊の感化により使徒と預言者が書いたキリスト教会唯一の經典であることと、旧・新約の両関係その他を適切に規定した。

3) 在日大韓基督教会の「信条」

1948年10月15日の第4回定期総会において、在日本朝鮮基督教会総会は在日大韓基督教会と改名した。在日大韓基督教

会はその後、1947年の憲法を見直して改正の作業を始めた。

1947年の憲法につき、1954年には礼拝模範・聖經要理問答・勸懲条例等の附則と共に信条と52条からなる簡易な改訂憲法本文が採択されたが、信条は改変されることなくそのまま引き継がれ、憲法と共に20年が経過した。

上述したように、1978年10月の第34回宣教70周年記念総会において、再び憲法が改訂され(原理12章52条。<補則>を加えると全13章55条)、若干の変更を伴う信条と共に採択された。この信条では、以前の漢字表現が随所でハングルらしい表現に書き改められ、第9条の<教会>項目において、54年版の「…イエス・キリストはその頭となり、教会はその肢体である。…」は聖書の正確な理解に従って、「…イエス・キリストはその頭となり、教会はその体である。…」と訂正した。さらに、最後の第12項目の最後の<審判と永生>の規定において、「すべての人が来臨のキリストの前で裁きを受ける」との二重の表現が一つにまとめられ、それに代わって、「キリストを信じて服従する者は赦罪を受け、主の栄光の中で迎え入れられるであろう」が付加された。

さらに20年後の1997年の44回定期総会において、制度・機構の大幅な整備と改革を伴う憲法改正が行われたが、より現代的表現に改正しつつ、信条の内容はそのまま継承した。12条からなる信条の順序は、次の通りである。1) 聖書、2) 神、3) 三位一体、4) 父、5) 御子、6) 聖霊、7) 罪、8) 罪の赦し、9) 教会、10) 聖礼典、11) 聖職、12) 審判と永遠なる命。

<むすび>—信条に基づく新たな信仰告白—

先に脚注1で説明したように、在日大韓基督教会の信条も少なからず依拠している1907年の「12信条」は、今日の韓国主流の長老教派教団においても積極的あるいは批判的に継承されている。しかし、プロテスタント諸教派教団が自覚的に継承してきた古典信条は、現代の激変する国内外の情勢の中で絶えず新たな信仰的表現によって告白され、解釈される。

その意味において、今世紀初頭に在日大韓基督教会が古典信条に基づいて、独自の信仰告白文を採択したことは特記されてよい。すなわち、在日大韓基督教会はかねてより在日少数民族の固有な歴史と文脈の中から表明される「信仰告白」を念願していたのであるが、その委託を受けた神学委員会は数年かけて簡易な信仰告白文(使徒信条前文)の草案作成に着手した。いくつかの原案が出されたが煮詰まらず、最終的には当委員会・神学部の長であった筆者が起草した原案に沿って草案がまとめられた。2001年10月23~25日に名古屋教会で開催された第46回定期総会において、この草案は論議を経て採択され制定された。これによって、信条・信仰告白・憲法に基づいて、歴史的かつ普動的な教会としての在日大韓基督教会の機構が、より強固に整えられたことになる。それは、主の来臨を目指して、地上でキリストの福音を証し続ける教会がもつ普遍的共通性と個別的特殊性との不可分な関係性を示している。 <終わり>

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。10名様～200名様の会議及び宿泊研修(50名)も可能。
 ・スペースYホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。
 ・韓国文化教室【チャング・カヤグム・舞踊】・韓国語講座・各種こどもクラス
 ・YMCA東京日本語学校【3ヶ月～2年、短期研修】

関西◆にほんご教室《新規開講・募集中》韓国民俗芸術科【舞踊・チャング】

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064

関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025

*会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京都千代田区猿樂町2-5-5 ☎03-3233-0611

大阪市東成区中道3-14-15 ☎06-6981-0782

税込	平日	休・休前日
シングル	¥6,500	¥6,000
ダブル	¥10,500	¥9,700
トリプル	¥13,500	¥12,500
朝食・コーヒー¥200(宿泊者価格)		

＜西部地方会＞ 水島教会 勸士・按手執事任職式挙行



去る 4 月 7 日 (日) 午後 4 時より西部地方会の水島教会において、姜永昌・尹信雄按手執事、林蓮子・金秋子勸士の任職式が執り行われた。

任職式は、臨時堂会長である梁栄友牧師 (岡山教会) の司式ではじまり、韓澤柱牧師 (姫路教会) の祈りの後、鄭寿天名誉牧師 (西宮教会) が「復活の朝に」(ルカ 22:61、24:31) という題で説教した。

その後、梁栄友牧師の司式で按手執事・勸士の任職式が執り行われた。祝辞は総会を代表して洪性完牧師 (総幹事)、西部地方会を代表して李聖雨牧師 (明石教会) がした。それに答えて、姜永昌按手執事、林蓮子勸士より答辞の後、鄭寿天名誉牧師 (西宮教会) の祝祷で式を終えた。

姜永昌按手執事は岡山県倉敷市児島生まれで、1958 年 3 月に田永福牧師より堅信礼を受け、1969 年に執事になった。家族は金秋子 (妻) と二男一女である。尹信雄按手執事は徳島県板野郡生まれで、1961 年 5 月、金元治牧師より受洗し、1963 年 2 月執事になった。家族は林蓮子 (妻) と二男二女である。林蓮子勸士は岡山県倉敷市水島生まれで、1964 年 12 月金榮植牧師より受洗し、1969 年 3 月執事になった。金秋子勸士は岡山県倉敷市水島生まれ、1966 年 12 月金榮植牧師より洗礼、1978 年 1 月に執事になった。

(報告：梁栄友牧師)

第 52 回 定期総会 日程案内

主題：聖霊によって証しする教会 (ローマ 9 : 1)
성령을 힘입어서 증거하는 교회 (로마 9 : 1)

日程：2013 年 10 月 14 日 (月) 11 : 00 ~
16 日 (水) 15 : 00

会場：在日大韓基督教会 名古屋教会

宿泊：サンルートホテル、モンブランホテル

創世記連続講解 (20)

尹宗銀 牧師

(横浜教会名誉牧師)



創世記 37 章

創世記 37 章の総主題は、『ヨセフがエジプトへ売られて行く』のであるが、歴史的に見れば前章と比べれば 67 年の歳月が流れている。

- ① 1 - 4 節：ヨセフが父の寵愛をうける。
- ② 5 - 11 節：ヨセフが二つの夢を見る。
- ③ 12 - 17 節：ヨセフが兄たちの牧場を訪問する。
- ④ 18 - 24 節：ヨセフが兄たちから被害をうける。
- ⑤ 25 - 28 節：ヨセフがエジプトへ売られて行く。
- ⑥ 29 - 36 節：兄たちから騙されることと父の悲哀。

本章からヨセフの歴史が始まる。ヨセフは、ヤコブの愛妻ラケル [Rachel] の子で 11 人の兄弟の中で最後に生まれた者として、そして愛妻から生まれたものとして、父の特別な愛を受けた。父親の正当な愛も兄弟たちの目には偏愛 [partiality] として見えた。まして兄たちの欠点を父に告げると二つの夢を率直に父に告げたことが恐ろしい猜忌 [jealousy] の的となった。

機会だけをねらっていた兄たちは、ヨセフの牧場の訪問を機会にして宿怨 [old grudge] を晴らそうとした。初めは殺そうとしたが、ルベンの提案に従って陥穽 [pitfall] に投げ込んだ。ここにおいてもカインが弟アベルに対するのと同じ罪悪の根性が現れている。

その時、丁度イシュマエル商人たちがエジプトに下って行く機会を利用して、ユダの提案で銀 20 枚で売ってしまった。そして兄たちは、父親ヤコブにはヨセフが野獣に被害されたと騙して羊の血をヨセフの衣に塗ってヤコブに伝えた。彼らに騙されたヤコブはそれか事実と知って悲しみ嘆いた。息子たちの慰めも一蹴して地下に行って息子ヨセフに会うまで哀痛を禁じ得なかった。

その後、ヨセフはエジプトの侍衛隊長官ポティファル [Potiphar] の奴隷とした売られた。この物語を通して学べることは『偏愛』が如何なる性質を持っているかということ、ヤコブがこれまで多くの人をだました事が、今度は自分の息子たちにだまされて死んでいない息子ヨセフが死んだかのように、哀痛の悲しみを味合ったことになったことで、罪は必ず罪によって報いられる事実を如実に示されている。

豊かな味、豊かな心。



妻家房

SAIKABO

代表取締役 呉永錫 (東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店：東京都新宿区四谷 3-10-25 Tel. 03-3354-0100

＜中部地方会＞ 女性連合会 第53回 定期大会開催



中部地方教会女性連合会の第53回定期大会が4月19日(金)、午前11時より大垣教会に於いて、6教会1伝道所の28名の代議員出席で開催された。

開会礼拝は、鄭恵子副会長(名古屋)の司会で、金必順牧師(全国女性会総務)より、「弱さに立つ」(ルカ22章54～62)と題して説教後、金牧師の司式と朴洋子長老(名古屋)の配餐により聖餐式が執り行われた。

続いて金甲粉会長(豊橋)が開会辞を述べ開会を宣言し、来賓紹介の後、金仁果牧師(岐阜)、金貞姫全国女性会会長、李戊順(岐阜)歴代会長により祝辞があり、写真撮影に入った。大垣教会の奉仕による昼食の後議事に入った。

役員改選は、次の通り選出された。

会長：鄭恵子(名古屋)、副会長：鄭仁仙(岐阜)、書記：朴京子(各務原ガリラヤ)、副書記：宋福姫(名古屋)、会計：金純子(名古屋)、副会計：申淑姫(名古屋)、伝道部長：金甲粉(豊橋)、副伝道部長：金珍明(長野)、教育部長：李正子(名古屋)、副教育部長：洪明淑(岐阜)、社会部長：金美璟(岐阜)、副社会部長：崔美子(大垣)、青年部長：金淑子(豊橋)、副青年部長：崔順福(名古屋南)、会計監査：朴洋子(名古屋)・李和純(名古屋)

献議案審議では、新年度計画案は新役員に一任された。そして、2013年度予算案が通過した。この後、全国女性会の憲章改定の必要性を金貞姫全国女性会会長が説明し、質疑応答された。次回大会場所を名古屋南教会とし議事を終了した。閉会礼拝は、鄭恵子新会長の司会で李根秀牧師(大垣)より「プリスカの信仰」(ローマ16:3～4)と題して説教があり、祝福を持って閉会した。(報告：鄭恵子)

＜住所／電話番号変更＞

朴太元牧師 464-0014 名古屋市中千種区御影町2-55-5
電話・FAX 052-711-4398
携帯 090-4188-7467

豊橋教会 電話・FAX 0532-54-7019

＜西部地方会＞ 第29回 定期総会開催

去る4月29日(月、祝)午前10時30分、約70名におよぶ参加のもと、川西教会にて第29回西部地方会定期総会が開催された。まず尹聖哲長老(神戸)の司会のもと開会礼拝が始められ、李鍾国長老(神戸東部)の祈祷、シオン合唱団の特別讃美、「御霊による一致」(エペソ4:15)という題で金承熙牧師(西宮)より力強いメッセージ、朴斗熙牧師(川西)の司式により聖餐式が執り行われた。そして席上献金後、辛鍾国名誉牧師(明石)の祝辞をもって礼拝を終えた。

続いて、地方会長より開会辞が述べられ、書記より会員点呼があり、代議員42名の内35名の出席で開会宣言がなされた後、書記によって召天者の名簿が読まれ、李聖雨牧師(明石)によって祈祷がなされた。さらに、書記より新総代の紹介がなされ、来賓(総会から林英宰副会長、日本基督教団兵庫教区から佃真人副議長、関西韓国YMCAから金弘明館長)の紹介があり、それぞれ祝辞が述べられた。



午後の部では、書記より来賓の紹介があり、(関西地方会から趙永哲会長、韓国蔚山老会から張永俊老会長)それぞれの来賓から祝辞が述べられた。また、各教会と各部の文書による報告と各報告を承認した後、会計監査と会計報告、各機関の報告について承認した。

続いて、役員選挙が行われ、旧・新任員が交代した。新任員は以下の通りである。会長：中江洋一牧師(広島)、副会長：金承熙牧師(西宮)、梁昌熙長老(武庫川)、書記：朴斗熙牧師(川西)、副書記：韓世一牧師(神戸)、会計：白承豪長老(神戸)、副会計：金漢俊(神戸東部)。(各部長-伝道部：梁榮友牧師、教育部：裴明德牧師、社会部：李相勤牧師、宣教協力部：中江洋一牧師、考試部：李聖雨牧師、視察部：中江洋一牧師、信徒部：李炫知勸士、教役者会：李重載牧師、会計監査：金哲鎬長老、姜判国長老)

閉会礼拝では、梁昌熙長老(副会長)が司会、祈祷、聖書朗読(マタイ5:33～37)を行い、「言葉の真実の回復」という題目で、中江洋一牧師から説教があった後、尹宗銀名誉牧師(横浜)から祝辞があり、中江洋一牧師が開会宣言をした。午後6時であった。(報告：朴斗熙牧師)



在日大韓基督教会
宣教 100～110周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)

2013年6月1日(土) 第719号

発行所 **福音新聞社** (1部100円)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
電話 03 (3202) 5398
発行人/金 武士・編集人/洪 性完
fukuinshinbun@kccj.jp (福音新聞)
info@kccj.jp (総会事務局)

〈在日 総会神学校〉

第14回 卒業式・入学式挙行



さる3月12日(火)に総会神学校の卒業式と入学式を恵みのうちに同時に開催した。卒業生は権寧勲氏(福岡教会所属)1名であり、入学生も宣榮伊氏(大阪教会所属)1名であった。しかし、式は恵みのうちに祝福され、小さな神学校が今後、主によって大きく用いられるように参加者一同が共に祈った。在學生は金秀明氏(東京第一教会)である。

千相鉉牧師(札幌教会)の司会で、韓在文牧師(水戸教会)が祈りをささげ、総会長である金武士牧師(大阪西成教会)の力強いメッセージがあった。校長である鄭然元牧師(大阪教会)により卒業証書が手渡され、やはり教職者の人格の重要性について訓示が語られた。卒業生には理事長(林英宰長老・武庫川教会)からの記念の贈物が渡された。

今回は総会神学生研修会が3月11日から同校で開かれた関係で、他神学校に通っている多くの神学生も参加し、特別讃美を歌い、卒業生・入学生を励ました。祝辞は、総会から副総会長の趙重来牧師が、全国教会女性連合会からは会長の金貞姫勸士が、日本キリスト教会神学校からは校長である三好明牧師(志木伝道所)が述べた。最後に、前神学校理事長である金君植名誉牧師の祝祷をもって式を終えた。なお今年度の教授陣が紹介された。・旧約:金性濟牧師(名古屋教会)、韓聖炫牧師(西新井教会)、・新約:洪性完牧師(総幹事)、・組織神学:権寧国牧師(福岡教会)千相鉉牧師、・歴史神学:金健牧師(川崎教会)、金根湜牧師(ハンサラン教会)、・実践神学:鄭然元牧師、李聖雨牧師(明石教会)。また、講師としても他の多くの牧師たちが奉仕していることが報告された。さらに新年度からは教務を千相鉉牧師、管理を韓聖炫牧師と仕事をわけて担当することになった。(報告:韓聖炫)

〈関西地方会〉アシュラム祈禱会 「落胆しないで祈りなさい」

関西地方会 伝道部(部長:金鐘賢牧師)が主催する第42回 アシュラム祈禱会が 지난 5月13日과 14日 同志社びわこリトリートセンター에서 “낙심하지 말고 祈禱하라”(눅 18:1)라는 주제로 목사와 성도를 포함하여 104명이参加하여開催되었다. 이번 講師는 처음으로 全日本リバイバルミッション運動 責任者인 日本人 滝元順牧師(新城教会)를 講師로 모시게 되었다. 全体 進行은 崔亨喆牧師 讚揚은 李哲敏, 尹美永執事(京都南部教会)가 引導했다.

開会礼拝에는 朴栄子牧師의 司會로 韓国 노량진教会 여중호牧師가 “応答이 올 때까지 祈禱하십시오”란 題目으로 說教하였고, 이어서 講師 滝元順牧師가 “가장 所重한 것 / 하나님을 사랑하는 것(눅 10:30-37)”, “가장 所重한 것 / 共通의 敵을 아는 것(눅 10:17-20)”, “窮極적인 勝利를 위하여(고전 15:20-26)”란 題目으로 講義하였다.



선한 사마리아의 比喻에서 韓日 兩國의 關係를 엿볼 수 있다고 說教하면서 韓日 兩國이 하나님의 사랑으로 連結되어야 하며, 共通의 敵인 사탄 마귀와 함께 싸워서 窮極적인 勝利를 이루어 가자고 說教하였다.

全聖三牧師의 引導로 進行된 干證과 祈禱의 時間에는 蔡晶洙長老, 盧守基勸士, 金永煥長老가 하나님께 받은 恩惠와 體驗을 干證하여 主님께 榮光을 돌렸다. 그리고, 參加者 全員이 分班으로 나뉘어 서로를 위하여 祈禱하는 時間을 가졌다.

이튿날 새벽 礼拝는 崔春子牧師의 司會로 地方會長 趙永哲牧師가 “하늘 門을 여는 方法”이라는 題目으로 말씀을 傳한 後 모두가 野外默想의 時間을 가졌다.

閉会礼拝는 朴成均牧師의 司會로 金鐘賢牧師가 “주의 榮光을 위해 祈禱하자”(王上 18:36-40)란 題目으로 說教하고 점심식사 後에 모두 마쳤다.

(報告:崔亨喆牧師)